

なのはな

NPO法人 なのはな

◇あおぞらキンダーガーデン

◇まほろば

◇わとと・あおぞら

〒420-0961 静岡市葵区北226-1

TEL/FAX 054-246-2213

E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp

npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp

URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

・・緑溢れる季節に泳ぐこいのぼり・・

色彩の饗宴を終えて緑に彩る季節は、新入、進級の新しい出会いに疲れた心を解きほぐす自然からの贈り物です。

この満開の緑の中に居ると、チンパンジーの研究をしていらっしゃる京都霊長類研究所の松沢哲郎さんが、数年前朝日新聞のコラムで書いていた言葉を思い出します。

「2005年に解読された人間とチンパンジーのゲノム（全遺伝子情報）の差は、1.2%であり稲とは、40%が同じであった。・・人間は、稲とも桜ともつながっているのです。すべての命は、つながっている。それが21世紀の人間観だといえるでしょう」と。

たくさんの緑の饗宴の中で、心を解きほぐすと共に自然も動物もつながっている事を忘れない事が人間らしく生きる生き方を教えてくれることを毎年実感していますが、今年はさらに強く感じるこの頃。

そしてたくさんの緑に泳ぐこいのぼりが毎年減り続ける中「子どもにとっての幸せ（最善の利益）」を考える大人達がどれほどいるのかなあ？と心痛めることが多くなっています。

1951年5月5日は、「子どもは、子どもである事を尊重される」事をうたった「児童憲章」が作られました。

昔から大人達が、すくすく育てて欲しいと願って、こいのぼりに寄せた気持ちに重なるものです。

先ほどの松沢先生は「チンパンジーの親を見ているとああしなさい、こうしなさい、と、子どもに口出しもしませんし、手出しもしません。人間の感覚でいうと放任に近い。でも必要な時には、すーと手が出てきますし、駆けつけてくれます。つまり、実は子どもの様子をいつもみまもっているのです」とも話しています。

「どんなに小さくても子どもは、言葉を持つ前から自分の意思を伝えている・・・」と子どもの権利条約が批准されて17年。

子どもにとっての幸せ（最善の利益）は、大人達によって花咲くものです。

自然に学び、同じ動物の仲間から学びながら子育てや保育を考えると大切なものが見えてくる事を実感するこいのぼりの泳ぐ5月

子どもの笑顔が溢れてしあわせになりますように！

(おか)

あおぞらだより

先日、園のそばで、卒園生のおかあさんに呼び止められました。

「先生うちの子が、もう5年生ですよー。勉強も難しく、クラス替えもあって友達関係も色々あるけど、思いっきり遊んだあおぞら時代があるから大丈夫って思えるんです」と。

そして、「先日アルバム整理していたらなつかしくて……。先生、あおぞらを離れて(卒園して)分かるよさもあるんですよ」と、話してくれました。

別の日には「高校生になりました」と卒園生のお父さんが卒園後初めて園を訪ねてくれました。

お父さんは、農家の方で「近所の畑においも掘りに来ていた園児を見ていたらあおぞらの事を思い出した」とのこと

で当時もお誘いくださった「イチゴ狩りにどうぞ」と足を運んで下さったのです。もちろん喜んで、幼児さんがいかせてもらいました。ありがとうございます。

その時、はじめ不安そうにいらして下さったお父さんが帰り際「園の方針が、変わってなくてほっとしました」言っただけのことばが、嬉しくもあり、印象的でした。

そんな、懐かしい人に会える日が重なった春。

4月、5月と新しい生活にちょっぴり不安になったりした時、大人も子どももちょっとだけ後ろを振り返ってみたくなるものなのかな？なんて思ったりもしました。

そうすることでもう1度「うん大丈夫」って前を向いて歩みを出せたりするのかもしれないね。

そういえば、息子も(小4年)「学校で嫌なことがあった時は、あおぞらの大スキだった友達の顔を思い出そうにしている」と言っていた言葉を思い出しました……。

先月末の卒園生との交流遠足が行われましたが、懐かしい友達と話したり、はしゃいだり、ふざけたりしてあそんだ1日が、パワーとなってまた、お休み明けの生活を元気に過ごせる事を願っています。

(ゆうこ)

まほろばの部屋から

本当は、ぐったりしたい子ども心

お友だちがあそびに来たり

家族みんなで、お出かけしたり、いつも会えないおじちゃんたちに会ったり。

スペシャルな日々を過ごした後は、大人は、もうぐったりしたい。

でも、子どもは、変にテンションが高いままだったり、ぐずぐず泣いたり、まとわりついたり・・・。

いつもの調子に戻るには、丸々一日は、かかります。

そういう時は、用事を入れずいつもの場所で、ゆったり過ごしましょう。

子どもも、本当は、ぐたったりしたいんです。

(はる)

わとと・あおぞら

「いろんな人たちの出会いの中で」

週2回（火・金）にわととガーデン（継続型一時保育）の5人のお友だちがわととに通っています。
入園して1カ月がたちました。

4月の頃は、ママと離れるときに「ママ～～！！」と涙涙の行ってきますでした。

スタッフとお散歩に行き、神社の落ち葉で「おめでとう～」ってかけ合ったり、小さい鳥居をトンネルにして汽車、バスごっこ、最近公園も見つけて、桜や春のお花に囲まれて、じっくり座って泥んこ遊びを楽しんでいます。

ママがお迎えに来るころにはいい～お顔になって「またくるね、バイバイ」に。

わととガーデンをはじめにいろんなスタッフさんや利用者さん、一時預かりの人たち、そして水・砂・お花などの自然の出会い、わととにはいろんな出会いの場がたくさんあります。

その出会いを大切に、これからもわととで皆さんがいいお顔で「またくるね、バイバイ」となるように、出会いの輪をつなげていきたいです。

(みなこ)

友達と見る絵本



もぐらバス / 偕成社 著：佐藤雅彦 イラスト：うちのますみ

「だれかのうちのにお3ちょうめ」「ものおきのした1ちょうめ」
これ、バス停の名前なんです。 地下を走るもぐらバス。
地下でぶつかりそうになったのは… なんと、大きなたけのこ！！
さあ、もぐらバスはどうなるのでしょうか…。

子どもも 大人も 地下の世界にいつの間にかひきこまれて
心くすぐられるこの絵本。

そらさんで、バスに乗ってお出かけした時は、
次は「だれんちのにお1ちょうめかな？」「大きなたけのこあったらどうする？」
って、いつものっているバスなのに いつもと違うドキドキワクワクがあって、
楽しいお出かけとなりましたよ。

(ひろこ)

悩みを抱えるおかあさんのためのひろば

む と と

(スワヒリ語で子ども)

★火曜日・木曜日・金曜日 10時から14時

★1時保育つき

★場所：川崎市麻生区片平5-23-10

★ファイザープログラム

(心と体のヘルスケアに関する市民運動・市民研究支援)の助成を受けています

★H235月より開始します